

令和6年度 全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」
(オリエンテーション合宿 in 曾爾青少年自然の家～曾爾研究プロジェクト～)

- [主 催] 国立曾爾青少年自然の家
- [期 日] 令和6年8月26日(月)・10月3日(木)
- [目 的] オリエンテーション合宿を通して、ものごとを探究する姿勢、主体的な態度、課題に向き合う力を身につけるとともに、郷土や自然に愛着を持ち自ら行動する高校生を育成する
- [対象/参加] 奈良県立添上高等学校人文探究コース1年生38名
- [担 当] 三木智拡(主任企画指導専門職)・森岡亮平(企画指導専門職), 角田正博(次長)



1 趣 旨

5, 6月にガイダンス及び曾爾村農林公社高松氏による講話を行った。台風により合宿は中止し、2日間に分けてプログラムを再構成し、実施した。第一回目は8月26日に担当者が学校に訪問し、カリキュラムの前半(主に試行)を行った。第2回目は10月3日に曾爾村にてフィールドワークを中心としたプログラム(主に実行)を日帰りで実施した。行政・観光・伝統・福祉・特産(トマト・ほうれん草)の計6グループに分かれて、村を代表する方々からお話を伺ったり、体験したり、見学したりした。自然の家に戻り、地域資源や課題を洗い出し、それぞれに対する提案を検討し、発表の準備をした。最後にお世話になった方々に来所して頂き、提案をプレゼンした。訪問先の皆さんからは熱心に意見や講評を頂いた。

2 プログラム展開

5月29日	13:00~15:00 (添上高校)			6月26日	13:00~15:00 (添上高校)		
	事前ガイダンス, 講話「地域づくりの理解と課題設定の基礎」				講義「地域づくりと探究」		
8月26日	9:00~12:00 (添上高校)						
	講義・演習①「地域づくりと探究」・発表①						
10月3日	9:45	10:00	10:30	14:30	15:30	16:30	
	入所式	講義②「地域課題の探究」	フィールドワーク	発表準備	発表②	退所式	

3 活動の様子



4 まとめ(生徒及び先生方の感想より)

- ・ 不便の中にも幸せがあるという言葉が心に残りました。シェアハウスまた来たいです。
- ・ 自分たちが考えて発表したものに、村の人からアドバイス等をもって、考えを深めることができてよかったです。
- ・ 学校を離れた「学びの場」は有効だと考える。特に教員以外の大人から言葉は生徒にとっても新鮮。このような場をもっと経験させていきたい。